



事務事業名	未登記整備事業	所属部	建設部	所属課	建設政策課																						
<b>2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																											
目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b> この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↘	健全な行政財産(交通体系、道路ネットワーク)の運営維持のためには、登記処理による財産保全が必要不可欠である。																							
	<b>公共関与の妥当性</b> なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↘	行政財産としての保全はもとより、財産を提供していただいた市民への責務でもある。																							
	<b>対象・意図の妥当性</b> 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↘	対象(未登記の公共事業用地)は既成のもので限定されており、意図も限定される。																							
有効性 評価	<b>成果の向上余地</b> 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↘	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↘	ほとんどの未登記事件が、複雑な相続問題等を抱えており、相続当事者間での解決が待たれるケース等、行政が積極的に関与できない部分があるが、事業を継続して実施することで、未登記筆数の減少は見込まれる。																							
	<b>廃止・休止の成果への影響</b> 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↘	放置された未登記箇所は、今後、転売や相続・贈与等により、所有権紛争を起こしかねない。また、未登記事件については、経年により相続人が多数化する恐れがあり、その分業務が複雑化することになる。																							
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b> 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↘ <input type="checkbox"/> 連携できる ↘ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↘ <input type="checkbox"/> 連携できない ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↘	未登記箇所のみを対象とした特殊な事業であり、個々のケースについて個別に解決していくしかない。																							
効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b> 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘	事業費については、司法書士・土地家屋調査士の公共嘱託登記協会に対する委託料であるが、登記業務に関する委託が前記の有資格者のみに限定されており、他の手法や住民協力等によることができない。																							
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b> やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘	上記のとおり。																							
公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b> 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↘	健全な行政財産(交通体系、道路ネットワーク)の運営維持については、不特定多数の道路(施設)利用者を対象にしており、市民全般の受益に繋がっている。																							
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]</b>																											
(1) 1次評価者としての評価結果 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		(2) 全体総括(振り返り、反省点) 様々な理由により未登記が発生しており、早期に解決することにより後日の事務処理の拡大や紛争等を未然に防止するため必要な事業である。																									
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <改革改善案> 計画通りに年30件程度の登記処理を行うことで成果向上をはかっていく。		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>						コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持					低下			
		コスト																									
		削減	維持	増加																							
成果	向上																										
	維持																										
	低下																										
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 特になし。																											

No.	720-020	事務事業名	道路維持管理事業				所属部	建設部
							所属課	土木課
政策体系	政策名	0 1	快適で魅力あるまちづくり				課長名	中村順一
	施策名	0 2	交通体系の充実				所属G(係)	道路維持グループ
	基本事業名	0 1	道路ネットワークの構築				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	0 8	0 2	0 1	761112	道路維持管理事業		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
霧島市全域の市道の維持管理のため、清掃や修繕・改修を行う事業。 主な業務内容は次のとおり。 市道の陥没や側溝閉塞、雑草等により見通しの悪い箇所などを通常巡回や、利用者からの通報により把握 現場状況確認 実施要否判断 関係機関と協議 修繕や改修工事・委託の発注 工事委託終了後の検査 日常的に住民が使用する生活道路については、清掃等を周辺地域の自治会に協働で行ってもらっている。							<input type="checkbox"/> 単年度のみ	
							<input type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( 年度 ~ )	
							<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ ( 年度 ~ 年度)	

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動)		単位	
市道の修繕とシルバー人材センター等に委託し草払いを実施		ア	道路補修・修繕箇所数
			箇所
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		イ	草払いを実施した延長
前年度と同様		ウ	km
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
市民		名称	
霧島市内の市道		単位	
		ア	市道利用者
			人
		イ	市道延長
			km
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
市道の通行に支障となる草払いを行う事で、通行車輛や歩行者・地域住民の安全を図る。(常時良好な状態に保たれる。)		名称	
		単位	
		ア	改善率 = 修繕箇所/要望・苦情箇所数
			%
		イ	草払い対応率=草払い実施延長/道路延長×2回×100
			%
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
交通事故を未然に防ぎ、安全に利用してもらおう。(円滑な移動が出来る。)		名称	
		単位	
		ア	改良率
			%
		イ	渋滞箇所数
			箇所
		ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	194,567	191,230	238,983	223,887		
		事業費計(A)	千円	194,567	191,230	238,983	223,887		
活動指標		ア	箇所	586	531	524	642		
		イ	km	507	690	783	715		
		ウ							
対象指標		ア	人	127,615	127,773	128,128	128,383		
		イ	km	1,556	1,566	1,537	1,537		
		ウ							
成果指標		ア	%	86.7	82.9	83.3	84.0		
		イ	%			25.0	22.7		
		ウ							
上位成果指標		ア	%	55.0	55.0	55.0	56.0		
		イ	箇所	9	9	9	8		
		ウ							

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
昭和27年の道路法の改定により、市道の整備並びに維持管理が市町村の義務となった。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
高齢化社会により地域住民で行っていた草払いが出来ない地域が増えており、それに伴い市で対応してほしいとの要望も年々増加してきている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
道路利用者だけでなく、地域住民からも草木が通行に支障となるので早急に対応してほしい。議会の中で市の委託外の市道の草払いをどうするか。また、自治会等に委託が出来ないかとの質問が寄せられる。	

事務事業名	道路維持管理事業	所属部	建設部	所属課	土木課
-------	----------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘	<input type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↘	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつか? 意図することが結果に結びついているか?	
	公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘	<input type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↘	なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	
	対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘	<input type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↘	対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	
有効性 評価	成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↘	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↘	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	
	廃止・休止の成果への影響	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↘	<input type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↘	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	
	類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段, 事務事業) ↘	<input type="checkbox"/> 統廃合できる ↘	<input type="checkbox"/> 連携できる ↘	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↘
効率性 評価	事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↘	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↘	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↘	<input type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↘	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	市道の維持修繕に伴う要望は、年々増加する傾向にあり、地域においても偏りがあるが、必要性・緊急性がある箇所においては、対応しなければならない事業である。今後は地域住民との連絡を密にし、協力を得ながら対応していく必要がある。

(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可	(4) 改革・改善による期待成果																		
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	(廃止・休止、道路・施設整備等の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	成果	向上			維持			低下		
	コスト																		
	削減	維持	増加																
成果	向上																		
	維持																		
	低下																		

(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策  
 市独自のパトロール実施については、職員数の減により困難な状況にある。  
 市道の修繕・補修等については、その必要性や緊急性を再度検討し、市で対応すべき箇所を明確化していく必要がある。

No.	720-410	事務事業名	道路維持改良事業	所属部	建設部
				所属課	土木課
政策体系	政策名	0 1	快適で魅力あるまちづくり	課長名	中村 順二
	施策名	0 2	交通体系の充実	所属G(係)	道路維持G
	基本事業名	0 1	道路ネットワークの構築	電話番号	45-5111

予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令
	一般	0 8	0 2	0 1	112015	道路橋梁維持補修事業	根拠

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)	事業期間
安心で安全な交通に支障をきたさないよう道路施設の維持工事を行う。 1.道路の陥没、老朽化等、緊急な補修を要する工事。 2.地域の環境変化により、従来の道路の大きさでは歩行者・車両の安全な通行及び緊急車両の交通に支障をきたしている場合、道路施設の機能を回復するための道路の改良工事。 3.2同様、従来の排水側溝の規模では、側溝の機能が損なわれている場合および排水施設が未整備箇所についての排水施設整備工事。	<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度 ~ 年度 )

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	単位
20年度実績(20年度に行った主な活動)		ア 道路維持工事延長	m
田口~野上線道路維持工事外38線		イ	
21年度計画(21年度に計画している主な活動)		ウ	
姫城4号線道路維持工事外50線		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		名称	単位
道路施設の維持工事の必要のある市道及び利用者		ア 通行者	人
		イ 通行車両	台
		ウ	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
通行の安全を図る。 快適に移動できる。		名称	単位
		ア 利用者が安全で快適に通行できる	人
		イ	
		ウ	
結果(どんな結果に結び付けるのか)		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
安全・快適に移動ができる。		名称	単位
		ア 改良率、舗装率	%
		イ 渋滞箇所数	箇所
		ウ 改善数/苦情・要望総数	%

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業内訳	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円				4,800	
		地方債	千円					
		その他	千円					
		一般財源	千円	140,309	100,850	132,374	118,132	
	事業費計(A)	千円	140,309	100,850	132,374	122,932		
活動指標	ア	m	5,756	3,913	5,626	15,997		
	イ							
	ウ							
対象指標	ア	人	6,575	6,740	6,753	6,769		
	イ	台	4,383	4,493	4,502	4,512		
	ウ							
成果指標	ア	人	5,756	5,900	6,050	6,200		
	イ							
	ウ							
上位成果指標	ア	%	87,55	87,55	89,59	91,60		
	イ	箇所	8	8	7	6		
	ウ	%	87	83	83	84		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 道路の維持修繕工事により、市民の安全で快適な交通を促すために、開始した。(何年度から開始したかは不明。)	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 道路の老朽化等により舗装、側溝等の傷みがみられる箇所が多くなってきている。また、地域の環境の変化により道路施設の機能が損なわれてきている地区がある。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 地域住民から該当市道の早期維持工事が望まれている。	

事務事業名	道路維持改良事業	所属部	建設部	所属課	土木課																					
<b>2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																										
目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b> この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	道路の維持補修により、交通の安全が図られ、快適で住み良いまちづくりに結びつく。																						
	<b>公共関与の妥当性</b> なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	道路は不特定多数の人が利用するものであり、利用者の交通の安全を図ることから妥当である。																						
	<b>対象・意図の妥当性</b> 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	一般の利用者を対象にしている。																						
有効性 評価	<b>成果の向上余地</b> 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	道路の維持補修が目的である。																						
	<b>廃止・休止の成果への影響</b> 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	廃止・休止した場合、利用者の安全な交通に支障をきたす。																						
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b> 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷	道路の維持補修が目的である。																						
効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b> 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	既に、再生材を利用する等コスト縮減を図っている。																						
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b> やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	今後、用地取得のための地権者との交渉や施工に向けた工事積算・発注を職員が担当することとなる。これらは市職員でなくては対応ができない業務となるため削減はできない。																						
公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b> 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	道路は不特定多数の人が利用するものであり公平である。																						
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】</b>																										
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)																						
< 改革改善案 >				(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持																									
	低下																									
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																										

政策体系	No.	750-210	事務事業名	まちづくり交付金街路整備事業	所属部	建設部		
	政策名	01	快速で魅力あるまちづくり	所属課	都市整備課	課長名	川東 千尋	
	施策名	02	交通体系の充実	所属G(係)	都市整備G	電話番号	45-5111	
	基本事業名	01	道路ネットワークの構築	法令根拠	都市計画法 道路法 土地収用法 都市再生特別措置法			
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	119045	まちづくり交付金事業(国分)
	一般	08	05	03				
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)							事業期間	
都市計画道路平和通線は、国分シビックセンター交差点～京セラ工場北交差点をつなぐ総延長L=1,610mの道路で、現在歩道のない区間、幅員の狭い区間の歩道の設置及び道路の拡幅を行う。平成5年～平成19年までに延長L=1,110mは改良済み。 残りL=500mのうち270mを平成19年度から平成24年度にかけて拡幅改良を行う。 補償物件の調査、用地取得、工事の施工							<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度～ ) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 <input checked="" type="checkbox"/> ( H 19 年度～ H 24 年度 )	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標

手段(主な活動)
20年度実績(20年度に行った主な活動) 補助金申請、用地・補償物件の調査、用地取得
21年度計画(21年度に計画している主な活動) 補助金申請、補償物件の調査、用地取得 工事の施工
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等 平和通線の道路利用者(車両及び歩行者) 事業用地の地権者、建物等所有者及び借家人など利害関係人、事業用地
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 安全かつスムーズに通行できる。 地権者、利害関係人の理解協力を得ながら事業用地として必要な土地を円滑に取得する。
結果(どんな結果に結び付けるのか) 安全・快適に移動ができる

活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
名称	単位
ア 取得した用地累積面積 / 必要な面積	%
イ 補償した累積件数 / 必要な件数	%
ウ 道路改良工事延長 / 対象路線延長	%
対象指標(対象の大きさを表す指標)	
名称	単位
ア 平和通線の道路利用者(歩行者)	人 / 12h
イ 平和通線の道路利用者(車両)	台 / 12h
ウ 地権者・工事に係る土地筆数	筆
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
名称	単位
ア 歩道が分離確保された延長 / 対象路線延長	%
イ 対象路線の通過時間	分
ウ 整備に反対している住民・地権者の数	人
上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
名称	単位
ア 改良率	%
イ 渋滞箇所数	箇所
ウ	

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(見込)	21年度(見込)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円	101,750	22,000	94,340	125,748
		都道府県支出金	千円				
		地方債	千円	79,000	17,100	127,400	77,300
		その他	千円				
		一般財源	千円	4,250	900	14,110	4,152
		事業費計(A)	千円	185,000	40,000	235,850	207,200
活動指標	ア	%	72	80	80	80	
	イ	%	72	80	80	80	
	ウ	%	72	80	80	80	
対象指標	ア	人 / 12h	未把握	未把握	120	120	
	イ	台 / 12h	2,000	2,200	2,200	2,200	
	ウ	筆	8	5	6	6	
成果指標	ア	%	72	80	80	80	
	イ	分	2	2	2	2	
	ウ	人	0	0	0	0	
上位成果指標	ア	%	55	55	55	56	
	イ	箇所	10	10	9	8	

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 平和通線は、昭和31年都市計画決定、平成5年より事業認可を受け、旧山形屋前から東側(京セラ側)に向けて幹線道路として整備開始。平成12年には第2期事業として引き続き事業認可を受ける。平成19年度は野元酒店から旧高倉製菓前のL=約106mを拡幅。平成20年度より第3期事業として旧高倉製菓から平清用水路まで事業認可を受け、拡幅工事中。中心市街地を東西に縦断する街路でありその両端には大企業(ソニー、京セラ)が立地しており重要な幹線として位置づけられている。
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 平和通線の西側延長に位置する天降川橋が平成18年に供用が開始され、また中心市街地の再編が進んでいるなど、ますます、本街路の重要性が高まっている。事業開始から長期間が経過したことで事業開始時の地権者が亡くなり、相続が発生、全員の承諾が困難になったり、地価変動により単価設定の変更などがあきている。建設事業の必要性や優先順位、経済効果などに対する地権者等の理解も得られている。
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 都市計画決定より多大の年数を費やしているため、早期の事業完成を地元住民から要望されている。 また、未着工の区域については特に道路が狭く、また都市計画法第53条の規定により建築制限を行なっていることもあり特に地権者からは早期の着手が要望されている。

事務事業名	まちづくり交付金街路整備事業	所属部	建設部	所属課	都市整備課
-------	----------------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価					
目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	交通体系の充実につながり、歩行者、通行車両が安全で快適に通行できる。	
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	都市計画法に基づき、市道として整備する道路の幅広であり、都市の健全な発展と秩序ある整備を目的に市が行うことは妥当である。	
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	主に平和通線を利用する者が対象になっており、それらの方々が安全・快適に通行できるようになるため適切である。 必要最低限の事業用地の取得であり、地権者、利害関係人の理解協力を得るため適切である。	
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	拡幅事業全体としては、まだ途中の段階であるが、これまで約1100mが開通しており、平和通線の通過時間は現状約6分、今後全線拡幅されることで約4分程度まで低減されると予想される。	
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	安全で快適な都市生活や円滑な都市活動、利便性の向上、良好な都市環境の整備ができなくなる。地権者には都市計画法により建築制限を課しており、土地を有効活用できない。	
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷	住宅が密集している狭い道路で、拡幅改良工事以外良好な都市環境を整備する事業は存在しない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】 ↷		
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	用地取得費及び補償費は不動産鑑定結果及び損失補償基準に基づき算定されるので削減の余地はない。工事の資機材選定、施行方法の検討を行ない、工事費の縮減に努める。	
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	用地取得のための地権者との交渉や施行に向けた工事費積算・工事管理は市職員が行なうことになるので削減はできない。	
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	公共施設の整備であり、利用者が一部の住民に限られるものではない。	

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																											
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	本事業により交通体系の充実につながり、歩行者、通行車両が安全で快適に通行でき、また、住宅が密集している狭い道路を拡幅改良することは都市環境整備の上でも重要である。																											
有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																												
効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																												
公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり																												
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																											
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th rowspan="2">低下</th> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下	維持				低下			
		コスト																											
		削減	維持	増加																									
成果	向上																												
	維持																												
低下	維持																												
	低下																												
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																													





事務事業名	エアポートフォトコンテスト事業	所属部	溝辺総合支所	所属課	地域振興課																					
<b>2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																										
目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷	この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつか? 意図することが結果に結びついているか? 国土交通省大阪航空局、航空各社等の協力により、鹿児島空港のPR及び利用促進に貢献している。																						
	<b>公共関与の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷	なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か? 空港所在市として、空港利用促進事業を積極的に実施する必要がある。																						
	<b>対象・意図の妥当性</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷	対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか? 霧島市民だけではなく、県内外誰もが対象となっている。																						
有効性 評価	<b>成果の向上余地</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷	成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか? 協賛社である鹿児島空港ビルディング株式会社と連携を図り、空港ビル内での入賞作品展示日数を増やすことで、入賞作品を鑑賞に訪れる入賞作品応募者及び応募者の関係者が増え、空港利用者の増加につながるから、成果向上の余地はある。																						
	<b>廃止・休止の成果への影響</b>	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は? 鹿児島空港をPRする機会が減少し、空港利用促進の低下につながる。																						
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段、事務事業) ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合できる ↷	<input type="checkbox"/> 連携できる ↷	<input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷	<input type="checkbox"/> 連携できない ↷																				
効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b>	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など) 事業費について、主に入賞賞金(市長賞・特選2点)及び審査会時の審査員謝金であり、協賛社賞の賞品については、全て協賛社から無償で提供いただいております。最低限の事業費にて実施しているため、削減の余地はない。																						
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷	<input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷	やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか? 成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか? (アウトソーシングなど) 担当職員は兼務で最低限の業務時間にとどめている。臨時職員による対応や委託もできると考えられる。																						
公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b>	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷	事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正になっているか? 空港利用促進としては、広く空港関係機関が受益者となっている。また、市内外問わず作品募集をしているので、市民及び市外の方々に公平な機会が与えられている。																						
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) 【担当課長記入欄】</b>																										
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	空港所在市として、空港利用促進事業を積極的に実施することは当然のことであり、類似事業と統廃合を行ったとしても、エアポート部門を設け、鹿児島空港のPRを継続して行い利用促進につなげていく必要がある。																								
有効性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
効率性	<input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																									
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可		<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)		(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																						
<改革改善案> きりしま写真展など類似事業があるが、それぞれの特徴を生かし、統廃合を検討すべきである。				<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持																									
	低下																									
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 関係課、関係機関と協議を行う必要がある。																										

No.	210-130	事務事業名	コミュニティバス等運行事業				所属部	企画部
							所属課	企画政策課
政策体系	政策名	0 1	快適で魅力あるまちづくり				課長名	川村 直人
	施策名	0 2	交通体系の充実				所属G(係)	企画政策グループ
	基本事業名	0 3	バス輸送の確保				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	0 2	0 1	1 0	185010	霧島ふるさと元気再生事業費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						事業期間	
公共交通(路線バス、鉄道など)が整備されていない交通空白・不便地域の市民の交通移動手段を確保するためにコミュニティバス(ふれあいバス)を運行する。 * 国分(9路線)、牧園(12路線)、霧島(3路線)をいわさきバスネットワーク(株)に運行を委託。 * 溝辺(8路線)、横川(9路線)を南国交通(株)に運行を委託。 * 福山(7路線)を大隅交通ネットワーク(株)に運行を委託。						<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( H 14 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (      年度 ~      年度 )	

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)		名称	
20年度実績(20年度に行った主な活動) コミュニティバスの運行(国分、溝辺、横川、牧園、霧島、福山地区) 平成21年度運行の見直しを検討した。(国分、溝辺、福山地区は運行に反映)		ア	コミュニティバスの運行便数
21年度計画(21年度に計画している主な活動) コミュニティバスの運行		イ	コミュニティバスの運行距離
対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 市民(公共交通機関の少ない地域の住民) コミュニティバス		ウ	検討会の開催回数
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) (コミュニティバスの運行により)市民の移動手段を確保する。		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
結果(どんな結果に結び付けるのか) 利便性が確保できる。		名称	
		ア	人口
		イ	再編成の対象となるコミュニティバスの路線数
		ウ	
		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア	移動手段が確保できた住民(自治会)の割合
		イ	
		ウ	
		上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	
		名称	
		ア	バスの路線数
		イ	バスの便数
		ウ	年間利用者数

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)		
投入量	事業費	財源内訳	千円					
		国庫支出金	千円					
		都道府県支出金	千円					
		地方債	千円					
		その他	千円			7,500	6,000	
	一般財源	千円	41,404	45,876	85,083	90,870		
	事業費計(A)	千円	41,404	45,876	92,583	96,870		
	人件費	正規職員従事人数	人	14	14	14	14	
		延べ業務時間	時間					
		人件費計(B)	千円	0	0	0	0	
トータルコスト(A)+(B)		千円	41,404	45,876	92,583	96,870		
活動指標	ア	便	125	127	173	173		
	イ	万km	27	27	46	46		
	ウ	回	8	10	8	10		
対象指標	ア	人	127,615	127,773	127,450	128,383		
	イ	路線	27	27	48	48		
	ウ							
成果指標	ア	%	48.4	48.4	75.7	75.7		
	イ							
	ウ							
上位成果指標	ア	路線	27	28	48	48		
	イ	便	125	127	173	173		
	ウ	千人	69	71	93	104		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 高齢者等の日常交通手段(買物、通院等)を確保するために、各地区(旧市町)でコミュニティバス(運賃:100円)による運行を開始した。 * 運行開始日...国分(H15.9.1)、横川(H14.12.2)、牧園(H17.10.13)、霧島(H14.11.11)	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? コミュニティバスの運行日に合わせて、高齢者の方々を中心に、買い物や通院、温泉入浴等に利用されており、高齢者の外出機会等が増えた。 平成20年4月から溝辺、福山地区でも新規運行を開始し、運賃も150円に見直しを行った。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか? 地域住民や議会等での要望を踏まえ、平成20年4月から溝辺、福山地区でも新規運行を開始したが、利用実態が悪い路線等があることから、市民への周知等行って利用促進を図ることや運行形態の見直し等求める意見がある。	

事務事業名	コミュニティバス等運行事業	所属部	企画部	所属課	企画政策課																					
<b>2 評価の部(SEE) *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価</b>																										
目的 妥当性 評価	<b>政策体系との整合性</b> この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】																								
	<b>公共関与の妥当性</b> なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】																								
	<b>対象・意図の妥当性</b> 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】																								
有効性 評価	<b>成果の向上余地</b> 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】																								
	<b>廃止・休止の成果への影響</b> 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】																								
	<b>類似事業との統廃合・連携の可能性</b> 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合できる <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる <input type="checkbox"/> 統廃合できない <input type="checkbox"/> 連携できない 他の公共交通(鉄道や路線バスなど)と連携して、市内の交通ネットワークを構築し、市民の交通移動手段を確保する必要がある。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない【理由】																								
効率性 評価	<b>事業費の削減余地</b> 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																								
	<b>人件費(延べ業務時間)の削減余地</b> やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずに正職員以外の職員や委託できないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】																								
公平性 評価	<b>受益機会・費用負担の適正化余地</b> 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】																								
<b>3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]</b>																										
(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり		市民の交通移動手段を確保することは必要不可欠であり、利用実態が悪い路線については、市民ニーズに合った利用しやすい運行等に見直ししていく必要がある。																								
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可				(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)				<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上																									
	維持																									
	低下																									
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 他の交通機関との連携は図れるが、乗り継ぎになれていない市民(高齢者等)が多いので、理解を求める。運行形態の見直しだけでなく、車両の小型化やふれあいバス以外の多様な交通移動手段についても検討する必要がある。																										

No.	210-140	事務事業名	路線バス支援事業				所属部	企画部
							所属課	企画政策課
政策体系	政策名	0 1	快適で魅力あるまちづくり				課長名	川村 直人
	施策名	0 2	交通体系の充実				所属G(係)	企画政策グループ
	基本事業名	0 3	バス輸送の確保				電話番号	45-5111
予算科目	会計	款	項	目	事業	事業名	法令根拠	
	一般	0 2	0 1	1 0	185010	霧島ふるさと元気再生事業費		

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						事業期間	
バス路線を維持し、市民の交通手段を確保するために、民間バス事業者に運行支援を行う。 ・国分地区遠距離通学バス(大隅交通ネットワーク㈱) ...1路線2便 平山・口輪野地区から国分南小・中学校へ通学する児童生徒をバスで輸送する。 ・市単独補助路線バス(いわさきバスネットワーク㈱) ...5路線23便 市街地循環バス(国分、隼人の市街地を運行)、霧島温泉駅線(霧島温泉駅～霧島温泉郷を運行) ・県廃止路線代替バス(大隅交通ネットワーク㈱、いわさきバスネットワーク㈱) ...15路線54便 平成18年11月のいわさきグループのバス路線廃止を受けて運行している。						<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 ↳ ( S 47 年度 ~ ) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ↳ (      年度 ~      年度 )	

1 現状把握の部 (DO)

(1) 事務事業の目的と目標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)																																							
手段(主な活動) 20年度実績(20年度に行った主な活動) バス事業者(大隅交通ネットワーク㈱、いわさきバスネットワーク㈱)への運行支援  21年度計画(21年度に計画している主な活動) バス事業者(大隅交通ネットワーク㈱、いわさきバスネットワーク㈱)への運行支援  対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 平山・口輪野地区から国分南小・中学校へ遠距離通学する児童生徒 市民 県廃止路線代替バスの運行路線  意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) バス路線を維持することにより、市民の移動手段を確保する。  結果(どんな結果に結び付けるのか) 利便性が確保できる。		<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 国分地区の遠距離通学バスとして運行支援を行っている便数</td> <td>便</td> </tr> <tr> <td>イ 市単独補助で運行支援を行っている便数</td> <td>便</td> </tr> <tr> <td>ウ 県廃止路線代替バスで運行支援を行っている便数</td> <td>便</td> </tr> <tr> <th colspan="2">対象指標(対象の大きさを表す指標)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 遠距離通学バスの運行が必要な平山・口輪野地区の児童生徒数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>イ 人口</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>ウ 路線バスの廃止路対象路線数</td> <td>路線</td> </tr> <tr> <th colspan="2">成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア 国分地区遠距離通学バスを利用している児童生徒数</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>イ 市単独補助バスの利用者数</td> <td>千人</td> </tr> <tr> <td>ウ 県廃止路線代替バスでの維持路線数</td> <td>路線</td> </tr> <tr> <th colspan="2">上位成果指標(結果の達成度を表す指標)</th> </tr> <tr> <th>名称</th> <th>単位</th> </tr> <tr> <td>ア バス路線数</td> <td>路線</td> </tr> <tr> <td>イ バス便数</td> <td>便</td> </tr> <tr> <td>ウ 年間利用者数</td> <td>千人</td> </tr> </table>		名称	単位	ア 国分地区の遠距離通学バスとして運行支援を行っている便数	便	イ 市単独補助で運行支援を行っている便数	便	ウ 県廃止路線代替バスで運行支援を行っている便数	便	対象指標(対象の大きさを表す指標)		名称	単位	ア 遠距離通学バスの運行が必要な平山・口輪野地区の児童生徒数	人	イ 人口	人	ウ 路線バスの廃止路対象路線数	路線	成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)		名称	単位	ア 国分地区遠距離通学バスを利用している児童生徒数	人	イ 市単独補助バスの利用者数	千人	ウ 県廃止路線代替バスでの維持路線数	路線	上位成果指標(結果の達成度を表す指標)		名称	単位	ア バス路線数	路線	イ バス便数	便	ウ 年間利用者数	千人
名称	単位																																								
ア 国分地区の遠距離通学バスとして運行支援を行っている便数	便																																								
イ 市単独補助で運行支援を行っている便数	便																																								
ウ 県廃止路線代替バスで運行支援を行っている便数	便																																								
対象指標(対象の大きさを表す指標)																																									
名称	単位																																								
ア 遠距離通学バスの運行が必要な平山・口輪野地区の児童生徒数	人																																								
イ 人口	人																																								
ウ 路線バスの廃止路対象路線数	路線																																								
成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)																																									
名称	単位																																								
ア 国分地区遠距離通学バスを利用している児童生徒数	人																																								
イ 市単独補助バスの利用者数	千人																																								
ウ 県廃止路線代替バスでの維持路線数	路線																																								
上位成果指標(結果の達成度を表す指標)																																									
名称	単位																																								
ア バス路線数	路線																																								
イ バス便数	便																																								
ウ 年間利用者数	千人																																								

(2) 総事業費・指標等の推移		単位	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(実績)	21年度(見込)			
投入量	事業費	財源内訳	千円						
		国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円			7,556	11,113		
		地方債	千円						
		その他	千円						
	一般財源	千円	9,890	26,956	39,469	74,070			
	事業費計(A)	千円	9,890	26,956	47,025	85,183			
	人件費	正規職員従事人数	人	2	2	2	2		
		延べ業務時間	時間						
		人件費計(B)	千円	0	0	0	0		
トータルコスト(A)+(B)		千円	9,890	26,956	47,025	85,183			
活動指標		ア 便	2	2	2	2			
	イ 便	23	31	28	28				
	ウ 便	0	53	54	54				
対象指標	ア 人	2	5	4	4				
	イ 人	127,615	127,773	127,450	128,383				
	ウ 路線	74	74	74	74				
成果指標	ア 人	2	5	4	4				
	イ 千人	85	43	35	54				
	ウ 路線	15	15	15	15				
上位成果指標	ア 路線	7	23	21	21				
	イ 便	25	86	84	84				
	ウ 千人	85	282	222	294				

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等	
この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?	
中学校の統合をきっかけに、平山・口輪野地区から国分南小・中学校へ通学バスとして運行開始。隼人巡回バスを国分地区まで路線延長し、市街地循環バスとして再編し、平成20年度から運行開始。県廃止路線代替バスは、いわさきグループの赤字バス路線廃止に伴い、平成18年11月8日から運行開始。	
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
マイカーの普及等でバス利用者は減少し、民間バス事業者は赤字経営になっている。平成18年11月には、民間バス事業者の赤字バス路線が一部廃止され、路線、便数ともに減少している。国の規制緩和等により、新規参入や撤退が自由化されたことも、バス事業(経営)に厳しい影響を与えている。	
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
高齢者等の運転免許を持たない交通弱者の方々からは、バス路線の廃止により不便を感じており、バスの増便要望等がある。通学に利用されている路線(便)以外には、利用者が少ないという意見がある。	

事務事業名	路線バス支援事業	所属部	企画部	所属課	企画政策課
-------	----------	-----	-----	-----	-------

2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている【理由】 ↷
	公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である【理由】 ↷
	対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 適切である【理由】 ↷
有効性 評価	成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない【理由】 ↷
	廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 影響有【その内容】 ↷
	類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか?類似事業との統廃合ができるか?類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある(具体的な手段,事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合できる ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 連携できる ↷ <input type="checkbox"/> 統廃合できない ↷ <input type="checkbox"/> 連携できない ↷
効率性 評価	事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
	人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか?成果を下げずにより正職員以外の職員や委託でできないか?(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない【理由】 ↷
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある【理由】 ↷ <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である【理由】 ↷

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN) [担当課長記入欄]

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																				
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	市民の交通移動手段を確保することは不可欠であり、市民の利用者ニーズに配慮しながら、効率的で合理性のある運行形態の見直しが求められている。																				
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) (従来通りで特に改革改善をしない) <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <改革改善案> 運行支援を行っている路線バスの利用促進を図るとともに、利用実態の悪い路線については、効率性、合理性を前提とした運行形態の見直しを行うとともに、路線バスと他の公共交通機関との相互連携や乗り継ぎの円滑化を図りながら、市民ニーズに合った利用しやすいバス運行を行う。	(4) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		コスト				削減	維持	増加	向上				維持				低下			
	コスト																				
	削減	維持	増加																		
向上																					
維持																					
低下																					
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 他の交通機関との連携は図れるが、乗り継ぎになれていない市民(高齢者等)が多いので、理解を求める。運行形態の見直しだけでなく、車両の小型化等についても検討する必要がある。マイカー利用者にも週1回程度は、バスを利用していただくなど市民に対し、利用促進のための広報活動を行う必要がある。																					